

Governor's Monthly Letter To Club Presidents and Secretaries

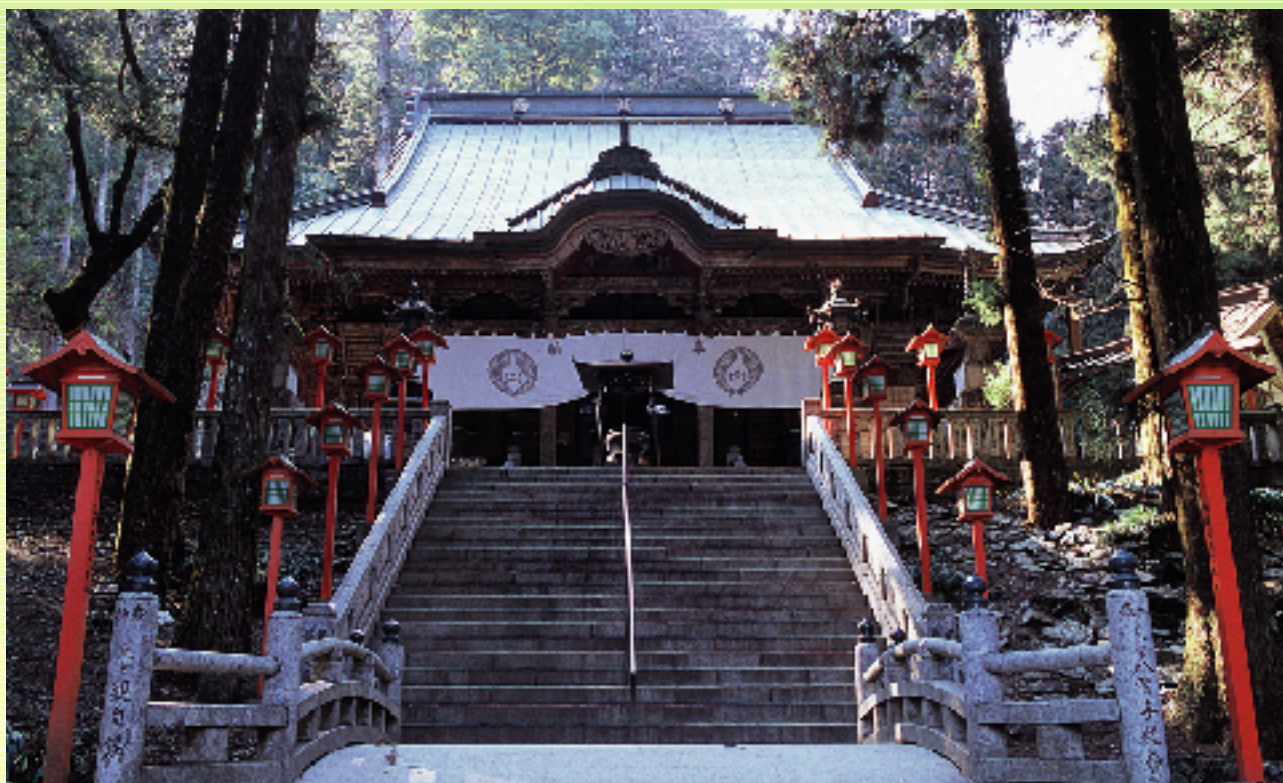
Rotary International District 2550



2006～2007年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう

RI会長 ウィリアム B. ボイド
ガバナー 落合 雅雄



出流山満願寺(栃木市)

CONTENTS

- p.1 落合ガバナーメッセージ
- p.3 識字率向上月間にちなんで
- p.4 ロータリーの雑誌月間に向かって
- p.5 WCSに参加したインターアクター奮闘記②
- p.6 IM開催報告
- p.7 第7グループのIM・アンケート結果
- p.10 地区大会のご案内
- p.11 ロータリー財団表彰者
- p.12 米山記念奨学会表彰者
- p.13 若者の未来を壊さないために
- p.15 物故会員 新入会員
- p.16 地区主要行事予定/文庫通信
- p.17 2007年1月第2550地区会員増強、出席報告

今月のロータリーレート
1\$=118円

2007.3
No.9

3月:識字率向上月間



国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所

〒328-0042 栃木県栃木市沼和田町12-15 平和ハイツ2F
TEL 0282-20-2020 FAX 0282-20-2025
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



識字率とその周辺

国際ロータリー第2550地区
2006～2007年度ガバナー

落合雅雄
(栃木西RC)

人間性豊かな児童生徒を育て、ゆとりのあるしかも充実した学校生活を送れるようにする筈の「ゆとり教育」は、1980年(昭55年)に導入されました。その結果は、小中学生の「家庭内暴力」「校内暴力」「いじめ」「殺人」が突如大量

量に出現し、85年(昭60年)以降さらに悪化に拍車が掛かり、平成13年には統計が始まった昭49年の1.4倍になりました。このことは、豊かな社会がもたらす様々な病理・現象が感受性の強い子供に現れているといえるが、ゆとり教育導入と符合し過ぎています。(茂木弘道)

人間は未完成で生まれ、規則に基づいて組み立てられ、初めて一人の人間になる。しかし、子供の自由を制限するのは悪だとして、規則や限界を教えなかったために、自分を組み立てられず、事の善悪を判断できない若者ができ上がった。彼等に対して大人が正しい方向を示し続ける責任がある。(パリ第一大学ルジャンドル名誉教授)

中教審が試みようとした小学校の英語必修化は、英語イコール国際化という勘違いが一人歩きしました。「大切なのは伝達手段よりも圧倒的に伝達内容である」(藤原正彦氏)

まずは日本人の日本語の識字率の向上を図ることが優先されるべきでしょう。

識学が即生活と直結する例は、国内においても見られます。中国残留日本人孤児として永住帰国された方の多くが、日本語の修得が充分でないことから就労条件を充すことができず、厳しい環境のもと高齢化も伴い、生活保護による生活を余儀なくされていることを見過すことはできません。

わが国において、18組の1組は国際結婚で東京では10組に1組(9%以上)、栃木県でも6%を占めている国際結婚は、外国人配偶者とその子達の日本語の識字率が懸念されるどころです。群馬県では90年以降南米人が急増し、その子供の50%は公立中小学校へ通学していますが、30%が学校保健法が適用されない外国人学校へ就学している現況も自治体にとって重要課題の一つではないでしょうか。(桐生西RC矢野PDG)

一方、識字率向上のための支援を必要とされる発展途上国は、国情がそれぞれ異なるので対応も様々となります。就中政府の姿勢は、奉仕プロジェクトの成否を左右します。東アジアや中近東およびアフリカ諸国では、各々大きな温度差が認められます。従って充分事前調査を行うことが大事です。

トルコにおける成人女性を対象とした識字率向上活動や、教育基金4万ドル（奨学金として）の提供と学校々金建設（バングラディシュ）などが多く実施されているプロジェクトです。また160mの深さの井戸を掘ることで清浄な水が得られ、水を買に行きに行くことを一日の仕事としているため学校に行けなかった1億1,300万人の子供達に、通学する時間をもたらすことができました。そして得られた知識は、就労を可能にし、飢餓から脱出することができると共に保健衛生についても留意するようになるでしょう。

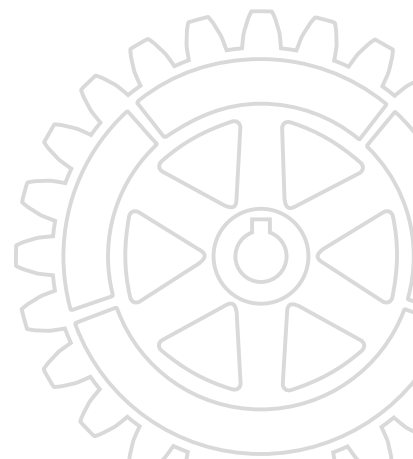
10～12億人といわれる非識字人口の3/4はアジア地域であり、その2/3は女性です。

アフリカの一部では、依然として「知らしむべからず、寄らしむべし」が為政者として都合がよく有利であることから、識字率向上運動は極めて迷惑な活動になるようです。

オーストラリアで開発されたCLE（識字教育のカリキュラム）は、対費用効果の点で卓越した教育方法であり、多くの地域で試みられ、高い教育効果が認められております。わが国でもこれに類似した教育法が用いられている小学校はあります。今RIが最も推奨しているカリキュラムです。

昨秋のゾーン研究会の分科会における「識字と教育」について、PDG藤川享胤モデレーターは、キーワードDedication（献身）とDevotion（愛情）を上げ、日本のロータリアンに欠けているものと指摘された上で、これから進むべき道について、大変示唆に富んだ序説から識字率向上に係る活動に取り組むときの心得について説かれました。さらにパネリストの高窪PCG、矢野PDG、特別アドバイザー富岡地区国際奉仕委員長（2830地区）による概略上述したプレゼンテーションが行われました。

識字に関しては、先進国の論理と常識が発展途上国にそのままでは通用しないという認識を持った上で、ことに当ることと、識字は水保全や保健や飢餓と密接な繋がりがあることも認知しておくべきでしょう。





ポリオプラス& 識字率向上月間にちなんで

識字率向上支援委員長

森 本 敬 三

(大田原中央RC)

インターネットがつながり、知りたい・見たいなどの情報が得られる昨今。そのインターネットを駆使し有益な情報を取得したり、またメールができて情報の交換ができる等、若い人たちは適応性があるI Tに積極的に取り組みそれなりの成果を上げているようです。しかし、指導的立場にある年配の人たちはそうもいかず、電子的情報に対する非識字 (Media Literacy) の状態におかれ疎外感や苛立ちを感じていることでしょう。

身近なI Tでも、できる人、できない人ができてしまい情報の格差を生んでいます。

また、I Tができる、できないが原因で人間の尊厳を傷つけるようなことはありません。

しかし、非識字つまり教育されないがために基本的人権が無視され、差別を生み貧困や紛争そしてポリオやエイズなどのウィルスの恐怖に怯え、生きることの喜びを知らずに尊い命を終わらせていく人々がいます。

ユネスコの推計 (2005年7月現在) によりますと、成人非識字者 (読み書きできない大人) は7億8500万人とされています。こうした非識字者の多くは生活の糧のために子供の時から働かなければならなかった、貧しい人々と女性や少数民族、さらには戦争や内乱の犠牲になった難民などが多く、成人の非識字者のうち64%が女性であると言われています。さらに学校に通えない児童数 (6~11歳の子供) は約1億400万人と言われています。

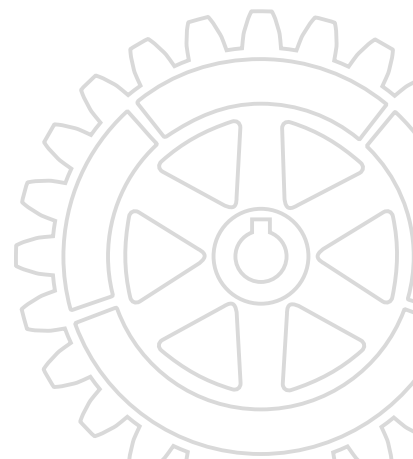
ロータリーではご存じの通り、早くから識字率向上に取り組み1989年より強調月間を設け継続事業として取り組んでいます。前年度までは年度始めの7月が強調月間でしたが、本年度より3月に変更となっています。

上記のような状況ですので識字率を向上させる取り組みは大変スケールの大きな話になりがちです。しかし私たちロータリアンは大きな壁を前にひるむことなく、乗り越え戦う知恵と勇気を持っています。

地域に即したいろいろな取り組み方があると思います。たとえば、マッチンググラウンドを使って他のクラブと協調してプロジェクトを推進するとか、または地域に在住している外国人への日本語教育など。クラブの特徴を生かしたプロジェクトを立ち上げてみてください。

RIボイド会長はメッセージの中で「私たちは、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、そして国際奉仕を通して、私たちはこの理想を維持しようと努めます。成人に対する読み書きの指導、子どもへのポリオワクチンの投与など、私たちが実施するプロジェクトの一つ一つが、私たち皆が住んでいる世の中を、少しずつより良いものに、より健康的で、そしてより幸せなものにしているのです。それらのことは、私たちがほかの人々へのさまざまな奉仕活動に献身しているにもかかわらず職業的に成功しているのではなく、ほかの人々への献身があるからこそ職業的にも成功していることを示しています。」と述べています。

この月間を契機として識字問題を再考し、アクションを起しましょう。





ロータリーの雑誌月間に向かって

ロータリーの友地区委員

塚 田 宏 司

(栃木西RC)

「会員外の人からロータリーって何？」と聞かれたらあなたは適切に答えられますか。私が友の委員になって初めての雑誌7月号の縦書き【ロータリーアットワーク】(P28)ロータリアンとしての意識と行動は？の投稿の中の言葉が気になりました。

2007年1月号の巻頭RI会長メッセージの中に同じ設問と答えが書いてありました。そして同じ1月号(P11)に一般の人たちがロータリーに対してどのようなイメージを抱いているかについての調査の集計結果の報告が載っていました。よく読みきれないのですが、何かの組織の名前として聞いた事があるという人が10パーセント位と云う事でしょうか。この数字は高いのでしょうか、低いのでしょうか。そしてこの中でロータリーの主旨、活動内容についての知識をもたれている方の比率はどの位になるのでしょうか。

同号(P13)【ロータリーを知り、ロータリーを知ってもらおう】のなかでいくつかの提案がされていました。その中に【挑戦してみよう】という部分がありました。面白いと思い、また自分に出来るかなとも思いました。でもこれが出来なくては、会員増強活動も会員退会防止もできないのだなとも思いました。ましてや広報活動など。

雑誌、ロータリーの友8月号では【ポリオプラス、のプラス】は単にその他5つの小児伝染病の対策を指すだけで無く、その撲滅活動のなかで創り上げられたコールドチェーン体系や動員、監視、募金体制などであり、そしてそのネットワークがインドネシアのジャワ島地震の際も効果的に活動に生かされていたという報告(1月号 P16)がありました。

8・9月号及び2月号では米山奨学事業が特集されその主旨、制度が紹介されました。記事のなかで事業規模、採用学生数とも日本国内で民間最大の奨学団体である事も紹介されました。

11月号ではロータリー財団ABCが面白い編集で組まれていました。その中での国際親善奨学金活動や3-H補助金制度などが紹介されています。

又各地区やクラブ単位で行われている各種のGSEや交換学生や奉仕活動。

それらの話題は「ロータリーって何？」と聞かれたときの分かり易い答えに成るのではないのでしょうか。

もちろんロータリーは単なる慈善団体でも、寄付団体でもありません。「とりあえず」の話です。

各巻の【RI会長のメッセージ】や会員の、【言いたい 聞きたい】などのロータリー論、【ロータリーアットワーク】での活動報告、10月号【従業員が真に望んでいるものは？】や【道徳と資本】の記事。そして【風紋】や【卓話の泉】。答えの中が広まるのでは。

四月はロータリー雑誌月間です。ぜひクラブ単位でロータリーの友を読んでみませんか。

クラブとして企画をして見ませんか。たとえばグループ別に、各月毎に分けて読後の感想を発表する。あるいは雑誌の中のテーマ別に分けて読んでもらい読後感を討論する。ロータリーとはを論じあう。Etc。

NHKのロングランの番組で【視点、論点】というのがあります。視点が変わると論点も変わるという事でしょうか。ロータリアンとしての視点で自分を見直してみる月間なのではないでしょうか。

面白い話もあります。12月号P8後半中段からのボイド会長の話です。オーストラリアやニュージーランドのこと。そしてProfitの解釈については話題になるのではないのでしょうか。

私にとって【ロータリーって何】、【ロータリークラブって何】、【ロータリアンである事は何】自前の論を考えてみるためにもぜひ「ロータリーの友」を読んでみてください。



奉仕に汗を、情熱を、 そして未来に希望を！！

－WCSに参加したインターアクト奮闘記－②

インターアクト委員会委員長

岡川 光 佑

(宇都宮西RC)

第2日目、医療奉仕活動に汗を流す。

サンフェルナンドは首都マニラの北方40キロのところであり、セントラルパムパンガーRCとの共同による医療奉仕活動である。屋根だけの体育館に於いて受付、内科の診断及び医薬品の支給、歯科治療、栄養補助食の支給、虫下しの投与等である。インターアクト達の具体的な仕事としては栄養補助食を作り、どんぶりによそって食べさせたり、虫下しの投与であれば子供の体重を計測して、基準値以下の体重の子供には1杯、以上の子供には2杯飲ませる等の補助的なことになるがやむをえない。順番を待っている子供には日本文化の「折り紙」の指導を行うが、多くの子供達が目を見張り、次に指導を受けながら自ら折り紙に挑戦し、結構これが受けたようだ。出来上がった作品をみて喜ぶ姿を見ると、こちらも嬉しくなって仕舞う。

ここでマジックのいたづらが首をもたげてきた。皆さんも子供の頃に「だまし舟」を折ったことがあるでしょう。

一人の子供に舟の帆を持たせた。フィリピンの公用語は英語とタガログ語である。「Shut the eye.」と言うと瞼を閉じた。そのようなブローケン英語では片目だけしかつぶらない？気にしない気にしない。「郷に入ったら郷に従え」フィリピン流に大らかに行こう。両目を閉じたのだから言葉が通じたのである。帆のところを舟になるよう折り曲げ「Open the eye.」と言うと瞼を開けてびっくり。きょとんとした顔を見ると、してやったりの感がする。

歯科治療の現場を見ると、ここも結構繁盛している。患者は医者に掛かることの出来ない貧しい人々であり、治療とは言っても、抜歯が主なものである。医療奉仕活動を何時までも行うわけに行かず、再び同じところで実施するにもそれなりの期間が必要であるため、現在歯が痛い患者に対して薬をつけて直るものであればよいのであるが、再び痛む可能性のある時には、抜いてしまうのが本人にとって最良の治療法なのである。

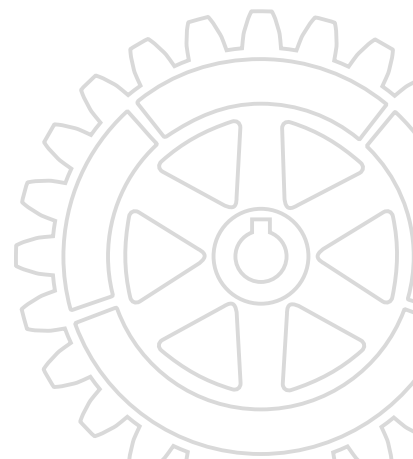
後に気付いたことではあるが、すべての人が貧しいのではなく、一方では治療ではなく歯並びを矯正している子供達も大勢いるのであるから、やはり貧富の格差が大きいのであろう。



栄養補助食づくりに大忙し



折り紙の指導に目を輝かせている子供たち





I M開催報告

第6グループガバナー補佐

松本幸三

(壬生RC)

第6グループの4クラブは栃木RCが栃木西および壬生RCの、そして栃木西RCが栃木南RCの誕生に携わってきた経緯があり、互いに近親関係にある。さらに、以前から合同新年会を開催したり、ロータリー年度はじめには各クラブの新会長が各クラブを相互に挨拶の訪問をすることが恒例になっていて、4クラブの親密度は充分醸成されている。

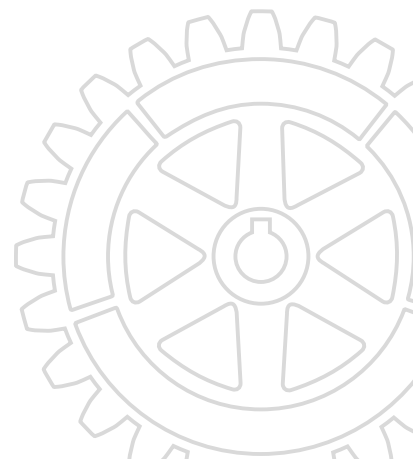
従って、I Mの主な目的の一つであるクラブ相互間の理解と親睦を回ることについては、改めて計画を立てる必要性はないと思い、また、新入会員へのロータリーのガイダンスについても、各クラブで実施していることを踏まえて、今年度はI Mに代えて第6グループ4クラブ合同の勉強会として講演会を開催した。

講演会にはソニー生保で優れた業績をあげた後、独立されA I M代表取締役の福地恵士氏を講師にお招きして、「貴方の夢をかなえる21世紀型ライフプラン」と題したお話を拝聴した。長寿社会の進む中で、私たちのこれからの人生を見つめなおす良い機会を与えて下さったように思う。

このようなグループとしての企画は会員相互の新しい社会情勢を把握するのに時宜を得たものと思われた。



←
講師にお礼を述べる
栃木西RC笠原会長





IM開催報告

第7グループガバナー補佐

石川 昭 男

(鹿沼東RC)

第7グループは、平成18年10月29日日曜日快晴の中、入会5年未満の会員と新入会員の教育担当委員長はじめ、総勢50名の参加を頂き鹿沼商工会議所でIMを開催しました。

開催目的は、二つあり一つは【新しい会員がロータリーの知識を深める事】、二つめは【退会防止対策】です。各クラブで実施している退会防止の方法を共有で、解決策を見いだせればと思いテーマとしてあげました。

一つめは、最適任者と以前から考えていました地区活性委員長 鈴木宏様（宇都宮北RC）に講演をお願いしました。ロータリーの内容をご自身で作られたパワーポイントを駆使し、歴史背景や映画の一場面、音楽を巧みに織り交ぜて楽しく教えていただきました。話を聞くにつれ、ロータリーに対しての愛情は並々ならぬものであり、それを参加者全員が感じたことはいまでも有りません。

ロータリー活動が、アメリカ文化の中で開花したため、英文を和訳するとき、微妙にニュアンスが変わって伝わっていることも説明をいただき理解できました。クラブとは、親睦とは、奉仕とは、などについてもわかりやすい解説でした。もっと沢山の会員に聞かせたい衝動に駆られたのは、私だけではなかったと思いました。今後のロータリー活動がさらに楽しく送れそうです。

午前の部終了後は、開催を快く受けてくれた鹿沼東クラブの実行委員会が、練りに練って用意してくれたバイキングスタイルの暖かい昼食をゆっくり堪能させて頂きました。

二つめは午後の部で、手塚廣鹿沼東クラブバスト会長の司会でパネルディスカッションが始まりました。入会の動機、入会前後のロータリーについての印象、クラブの一員になったと思う要因などをテーマについて、各クラブ代表一名のパネラーから発言を頂き、その後討論会に入りました。入会年数が短期にも関わらず、クラブの重要なポストに就くことになり、そこでロータリーの楽しさや意義を理解しはじめた話、奉仕活動を企画・実践した後の得た充実感に感銘を受けた話、奉仕で出会った方とのふれあい話、沢山の方との出会いの話など、出席者からは、堰を切ったように次々といい話を聞くことができ、クラブ退会防止や会員増強の方策などのヒントを得たことと思いました。

IMは、開催目的を明確しそのテーマで討論し語り合えば、お互い理解し絆を深める場として存在意義があると改めて悟り、その機会に立ち会えた充実感を、今も忘れられません。

最後になりましたが、お忙しい中講演を快く引き受けてくれました地区活性委員長 鈴木宏様（宇都宮北RC）には、心から感謝申し上げます。

次のページにアンケート結果が掲載しております。

今回のIMを開催するに当たり、第7グループ前クラブ全会員にアンケートを実施させていただきました。その結果を一部ご紹介させていただきます。

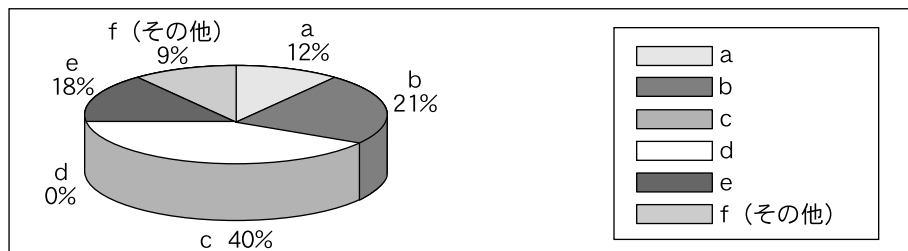
回答数 ロータリー会員の回答者総数151名

(・内訳 入会5年未満の会員32名 入会5年以上の会員119名)

アンケート結果

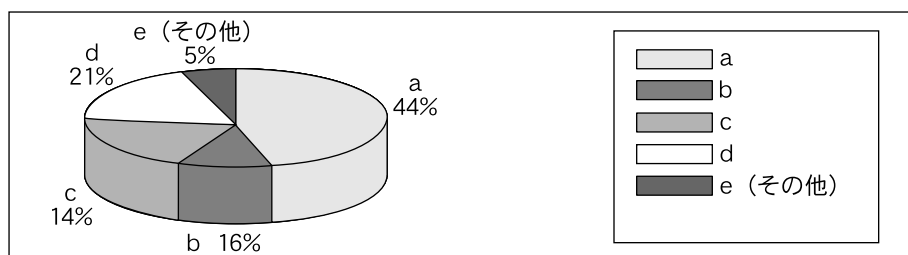
※ 入会を決めた理由は？

- a 仕事上の関係で入会を断れなかった
- b 以前からロータリー自体に興味を持っていた
- c 知人が増えそうなので
- d 後継者が育ち奉仕活動に興味を持っていた
- e 仕事の情報が増え仕事にプラスになると思った
- f その他 ()



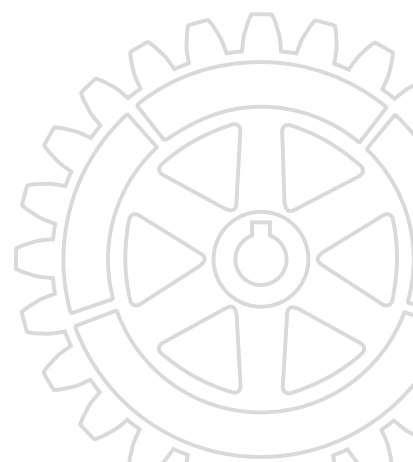
※ 入会后、ロータリークラブの会員になったと思うような出来事は何でしょうか？

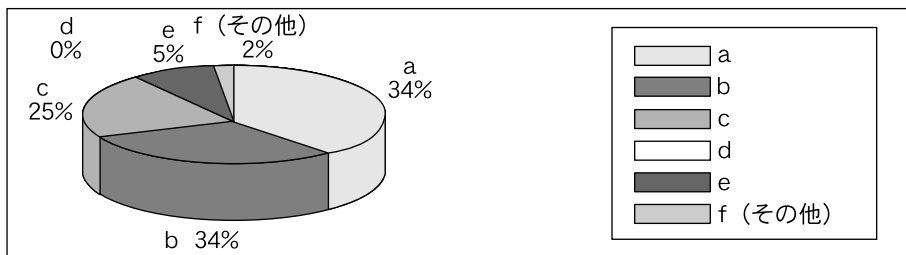
- a 例会へ出席し、新しい友人が増えたとき
- b 委員会活動や奉仕活動を通して達成感をクラブ会員と共有したとき
- c 家族会・新年会・親睦会などを通して心がうち解けたとき
- d 愛好会・趣味の会（ゴルフ・野球など）へ参加して仲間になったとき
- e その他 ()



※ 貴方は、ロータリークラブの会員になるように友人知人を推薦しましたか？

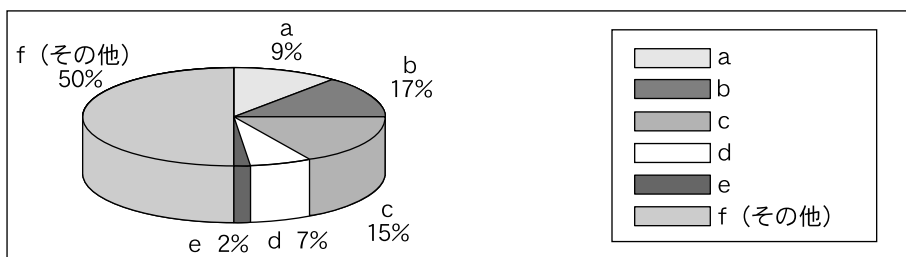
- ・自クラブに会員を推薦した方の理由
 - a ロータリーの奉仕活動全般が共鳴できたので、多くの方に勧めたかった
 - b 仲間・友人が沢山できたので、知り合いを誘った
 - c クラブの方針が会員増強なので知り合いを推薦した
 - e 仕事から退いた後の楽しみになると思い知り合いを推薦した
 - f その他（会員増強は、会員全体で意識を持って行動する事が肝要。）





・ 自クラブに会員を推薦されてない方の理由

- a ロータリー活動がまだよく分からない
- b 会費を含めお金がかかりすぎる
- c ロータリー活動に時間がかかりすぎ仕事に支障をきたすから
- d 奉仕活動や親睦にもあまり魅力を感じないので
- e クラブ内に友人、仲間が出来ないので
- f その他（推薦する人がいない。）



※ 入会5年未満会員のアンケート

- ・ それでは、推薦されない方で、ロータリーがどう変われば、貴方は多くの方を推薦したいと思います？
 - ・ 強制的な行事を無くし、自主性を重んじるようにする。
 - ・ 週1回の例会が多いと思う。月2回位がよい。
 - ・ 年会費が安くなれば。
 - ・ 毎週の出席が難しい人が多く、アテンダンス（奉仕活動を早朝や休日）があれば出やすい。
 - ・ もう少し仕事の情報交換が出来る場があれば。
 - ・ 推薦するほどロータリークラブをまだ理解していない。
 - ・ ロータリーの情報をもっと多く知らしめて欲しい。

※ 5年以上の会員のアンケート結果

- ・ それでは、推薦されない方で、ロータリーがどう変われば、貴方は多くの方を推薦したいと思います？
 - ・ 真のボランティアを目指す意思のあるかたを見つけたす努力を会員が実行出来る環境を整えれば推薦したい。
 - ・ 会長、幹事、委員長などの負担がもっと軽くなり、無理なことが気兼ね無く無理と言えるような雰囲気クラブ内に出来れば。
 - ・ 夜の例会などがあり、例会に出席が楽になれば。
 - ・ ゆったりとした雰囲気の中で種々の活動が展開されたり、おおらかな対応の出来る会員が圧倒的多数を占めるようになった時。
 - ・ 会費をもっと安く 会費以外も出費も少なくなれば。他2名
 - ・ 楽しい例会、意義ある例会が運営できれば。



2006～2007年度
国際ロータリー第2550地区

地区大会のご案内

ホストクラブ：栃木西ロータリークラブ
コ・ホストクラブ：栃木ロータリークラブ・壬生ロータリークラブ
栃木南ロータリークラブ

地区大会記念ゴルフ大会

◇と き：2007年4月27日(金) ◇ところ：都賀カンツリー倶楽部
(栃木ICより車で10分)
(TEL0282-31-1135)

R I 会長代理歓迎晩餐会

◇と き：2007年5月12日(土) ◇ところ：宇都宮グランドホテル
17:00 登録 (JR宇都宮駅より車で10分・鹿沼ICより車で20分)
(TEL028-635-2111)

本 会 議

◇と き：2007年5月13日(日) ◇ところ：栃木市文化会館
(JR・東武栃木駅より車で10分・栃木ICより車で15分)
(TEL0282-23-5678)

《大会プログラム》

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 9:00 登録開始 | 12:45 招待学生紹介・スピーチ |
| 9:30 点鐘 | 13:30 GSE紹介 |
| 9:50 R I 会長代理紹介・来賓紹介・
地区外参加クラブ紹介 | 13:50 ガバナーエレクト紹介・挨拶
ガバナーノミニ紹介・挨拶 |
| 10:10 ガバナー補佐紹介・参加クラブ紹介 | 次期開催地代表挨拶 |
| 10:40 ガバナー挨拶並びに現況報告 | 14:05 各種表彰 |
| 10:50 R I 会長代理挨拶並びに現況報告 | 14:50 記念講演 |
| 11:10 大会委員会報告並びに上程 | 16:20 大会を顧みて |
| 11:30 大会決議案採決 | 17:00 点鐘 |
| 11:35 来賓祝辞 | |
| 12:00 昼食・休憩 | |

記念講演者



諏訪中央病院
名誉院長
鎌田 實先生

1974年 東京医科歯科大学医学部卒業
長野県諏訪中央病院にて、
地域医療に携わる。一貫して「住民とともに
つくる医療」を提案実践。また国際医療支援活動にも
多大な功績を残し、1994年信濃毎日新聞賞初め永井隆・平和記念・長崎賞、
読売国際協力賞など授与多数。現在テレビ・ラジオで活躍。

晩餐会演奏者



ギタリスト
ソノコ・マージュ

栃木市出身
セゴビアとユパンキ二人の巨匠に学び、その精神を語り継ぐ国際的フォルクローレギター奏者。
1998年日本文化振興会から国際芸術文化賞および国際栄誉賞を授与。現在ユパンキの精神を引き継ぐ唯一の弟子として活躍。



ロータリー財団

(2007.2)

〈ポール・ハリス・フェロー〉

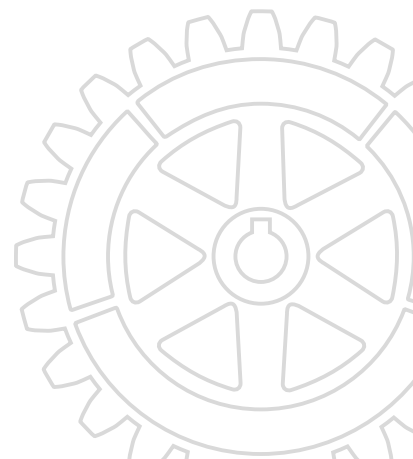
今市RC 福田政一・八木澤享一 今市きぬRC 三中春彦 鹿沼RC 矢口有良 鹿沼中央RC 黒川英一
 日光RC 岩本政則・岡田 靖・加藤四郎 栃木RC 川嶋幸雄・山口武夫
 宇都宮90RC 藤田勝春・鈴木章央 宇都宮西RC 大出弘孝 宇都宮陽北RC 中村利美夫
 矢板RC 内田ヨシ子・萩原昌則 足利RC 小泉信秀 大田原RC 福田春雄

〈マルチプル・ポール・ハリス・フェロー〉

真岡西RC 小林克男 (1)、 佐野RC 唐澤重信 (1)、 齊川春義 (1)、 三井福次郎 (3)、 椎名竹一 (3)、
 宇都宮東RC 旭 英幸 (1)、 蜂須賀勲 (1)、 細谷俊夫 (1)、 石川元信 (1)、 石塚総一 (1)、
 加賀田敏雄 (1)、 金澤正英 (1)、 粕谷忠宏 (1)、 片山幸志 (1)、 加藤勝朗 (1)、 菊池宏章 (1)、
 菊地憲寿 (1)、 倉井 章 (1)、 長野榮夫 (1)、 大木八千雄 (1)、 大武功治 (1)、 小野 誠 (1)、
 坂田早苗 (1)、 佐藤克廣 (1)、 田嶋章夫 (1)、 田崎信孝 (1)、 手塚邦治 (1)、 渡辺有規 (1)、
 足利わたらせRC 源田晃登 (1)、 足利RC 中村勝榮 (4)、 佐野東RC 芝口久雄 (1)、
 今市RC 今井 宏 (4)、 中野光一 (1)、 永岡俊彦 (2)、 小栗 理 (1)、 大柿吉正 (1)、 大西和行 (1)、
 大嶋貞敬 (6)、
 今市きぬRC 小野吉正 (1)、 横瀬宏允 (3)、
 鹿沼RC 上原昭郎 (1)、 大出孝三郎 (2)、 檜淵義雄 (2)、 柴田精進 (3)、 柴田好雄 (1)、 梁宮剛太 (4)、
 鹿沼東RC 宮司 勝 (1)、 平井 好 (1)、 小林浅太郎 (2)、 中津俊六 (1)、 谷原克忠 (1)、 油井保志 (1)、
 真岡西RC 桜井洋子 (2)、
 日光RC 福田孫表 (2)、 平岡一二 (1)、 三ツ山一明 (4)、 相良芳隆 (2)、 多島信彦 (1)、 高橋一精 (2)、
 大田原RC 橋本 洋 (3)、 井上成紀 (4)、 岩上総一郎 (1)、 下鳥大作 (2)、 谷田部千秋 (1)、
 しもつけRC 川中子隆 (1)、
 氏家RC 松村 誠 (1)、 高橋経雄 (1)、
 宇都宮90RC 前田 茂 (3)、 中臣昭範 (2)、 佐藤賀子 (2)、 竹淵秀郎 (1)、
 宇都宮東RC 宮下 浩 (4)、
 宇都宮南RC 村上芳弘 (1)、 中村守利 (1)、 高久和男 (1)、 若月章男 (2)、 米光啓彌 (3)、
 宇都宮西RC 森田善雄 (4)、 萩原 哲 (1)、 北村長榮 (3)、 村上龍也 (1)、 里村佳行 (1)、
 宇都宮陽北RC 阿久津廣行 (1)、 大野昌子 (2)、 小池静子 (3)、 佐藤 節 (1)

〈ベネファクター〉

佐野東RC 芝口久雄、 宇都宮西RC 増山瑞比古・松井 昭、 矢板RC 阿久津潤子、 日光RC 加藤四郎
 佐野RC 田沼 穰・藤沼邦男 氏家RC 吉成容一



米山記念奨学会

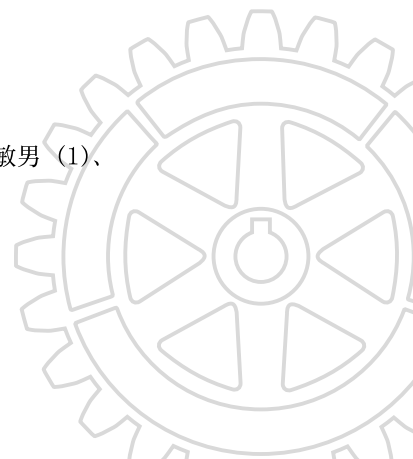
(2006.12.1~2007.1.31)

〈米山功労クラブ〉

 足利東RC、鹿沼RC、鹿沼東RC、黒磯RC、益子RC、西那須野RC、小山RC、小山東RC、
 宇都宮RC、宇都宮北RC、宇都宮南RC、宇都宮西RC、宇都宮陽東RC、足利西RC、大田原RC

〈米山功労者〉※2以上はマルチプル、10以上はメジャードナー

足利RC 岡平悟朗 (5)、
 足利東RC 板橋博 (4)、板橋秀二 (4)、板橋敏雄 (13)、関谷和夫 (5)、
 馬頭小川RC 岩河良彦 (2)、
 岩舟RC 石川弘 (6)、
 鹿沼RC 船生哲夫 (1)、橋本伸一郎 (1)、石原真一 (2)、狐塚泰久 (1)、黒田雄一 (1)、
 黒本敏夫 (1)、倉松俊弘 (1)、西村雄吉 (4)、
 鹿沼東RC 福田正和 (2)、伊矢野誠一郎 (4)、木村剛考 (4)、小松英夫 (2)、奥田千代子 (3)、
 黒磯RC 檜山達郎 (1)、石山桂子 (2)、磯勝彦 (3)、野崎兼太郎 (1)、篠崎勝則 (2)、
 鈴木隆子 (3)、月江寛智 (3)、
 益子RC 藤原郁三 (3)、萩原新也 (2)、大塚義次 (2)、関幸一 (1)、富田兵哉 (3)、
 塚本和也 (3)、吉川水城 (3)、
 日光RC 平岡一二 (2)、
 西那須野RC 福本光夫 (1)、福本光夫 (2)、伊藤俊三 (3)、片柳洋 (3)、君島一郎 (1)、
 菊池悟 (3)、森英夫 (1)、大原栄 (3)、
 小山RC 加藤隆夫 (6)、小林甚一郎 (3)、中里武夫 (3)、大手直之 (2)、佐瀬英夫 (1)、
 坂井秀伸 (3)、田村興太郎 (3)、土屋尚久 (2)、塚原勉 (3)、塚田錦治 (3)、
 宇井邦和 (4)、八木澤孝仁 (2)、
 小山東RC 塚原義朗 (1)、津布久正明 (3)、
 佐野東RC 橋本昭寿 (1)、芝口久雄 (2)、
 宇都宮RC 石島吉造 (6)、
 宇都宮北RC 加藤茂樹 (5)、菊池博規 (1)、亀掛川良宣 (3)、佐伯秀利 (6)、渡辺孝雄 (1)、
 渡辺道彦 (2)、山本直由 (4)、
 宇都宮南RC 安藤邦夫 (4)、村田宏明 (2)、中村守利 (4)、萩原英美 (2)、若林博純 (2)、
 若月章男 (5)、米光啓彌 (9)、
 宇都宮90RC 保坂正裕 (1)、
 宇都宮西RC 森田善雄 (10)、
 宇都宮陽東RC 阿部健三 (3)、橋本正行 (2)、比企達男 (3)、宍倉悦夫 (1)、宇都宮誠 (4)、
 若林平吉 (3)、
 矢板RC 前田光弘 (4)、
 鹿沼中央RC 赤井孝行 (1)、佐伯全弘 (5)、
 黒羽RC 加藤利勝 (6)、菊池眞司 (4)、佐藤憲一 (4)、
 真岡RC 海老原均 (1)、宇賀神裕一 (1)、
 大田原RC 伊藤一男 (1)、佐久間利和 (2)、渡辺繁治 (1)、
 小山南RC 福島久雄 (1)、近藤稔 (5)、黒須治一 (3)、瀬野公男 (2)、田口敏男 (1)、
 田中茂氏 (4)、
 宇都宮西RC 須賀淳 (4)、須賀淳 (5)、





若者の未来を壊さないために

宇都宮西ロータリークラブ

渡 邊 正 昭

(クラブ新世代委員長)

宇都宮西RCでは尾崎会長、里村幹事の下、新世代委員会と社会奉仕委員会とが共同にて平成18年10月28日



(土)と平成18年11月25日(土)に「B.B.Balloon」キャンペーンと称して、次代を担う若者の未来を壊さないために、性感染症の恐怖を知り、それを予防し、妊娠を防ぐことをテーマとしての啓蒙活動を行いました。

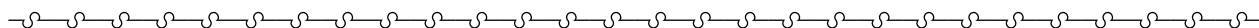
欧米先進国では、HIV感染の流行をすでに抑え込み、ピークは過ぎたとされています。しかし日本では、依然として増加傾向にあります。さらに問題なのは、調査によって確認された数以上の感染者がいると推定されることです。欧米各国の患者と感染者の比率が1対10なのに対し、日本での報告を見ると

看護学校の生徒の協力によるPRパンフレットに配布1対2に過ぎません。つまり、平成14年の患者数308人から欧米の比率にならって感染者数を導くと、感染者は3,080人いてもおかしくないことになります。また実際には、その倍数の感染者がいると言われていています。このことは、感染に気付かない人が多くいることを示しています。社会全体で感染拡大防止に真剣に取り組むことが、今求められています。

また、ここ数年若い世代のHIV以外の性感染症が増加し、問題になっています。クラミジアや性器ヘルペスなどの性感染症に感染していると、女性は、不妊や流産、早産、母子間の感染、子宮ガンなどの影響があります。また、男性でも睾丸炎や前立腺炎の発症につながります。そして、2004年の10代の人工妊娠中絶数(対千人)は、栃木県は16.1人で全国ワ



屋台横町にてのPR活動



いですか？」▼最初の性交渉年

齢の低下と軌を一にして若い世

代の性感染症や妊娠中絶が増え

ている。ここ数年、二十歳未満

の妊娠中絶は宇都宮市だけで年

間二百件を超え、三百件近い年

もあつた。活発な性行動に知識

が伴っていないのだろうか▼怖い

のはエイズの発症原因となるH

IVに感染することだ。欧米で

はHIV感染の流行は峠を過ぎ

たとされているが、日本では、

なお右肩上がりが続ぎ、二〇〇

五年のHIV感染・エイズ発症

者は約千二百人と過去最多を更

新している▼若者たちには正し

い性知識にとどまらず、性道徳

もしっかり身につけさせたい。

一日は「世界エイズデー」。

■平成十八年十二月一日

下野新聞より



スト13位でした。

このような性の問題となると、重要であると認識はしていますが、どう対処して取り組むのか、となると方策は思い当たりません。でも少しでも動かないと先には進みませんし、また、いくら良いことであっても多くの会員の理解と協力を得ないと成功もしません。

そこで私達、宇都宮西ロータリークラブでは、今回、テレビ・ラジオ・新聞で有名な赤枝六本木診療所院長（東京都）の赤枝恒雄先生を宇都宮市にお迎えし、性に関する種々の問題点を市民の皆様と共に考えていくことを企画いたしました。

（先生は、平成11年より街角無料相談をはじめ、文化放送ラジオの性教育番組「ガールズガード 女の子の保健室」のパーソナリティや無料街角検査など、思春期の子ども達から性感染症や望まない妊娠を防ぐガールズガード運動を展開しています。）

まず、10月28日（土曜日）午後7時から宇都宮屋台横丁のご協力をいただき、赤枝先生の行っている街角相談の形で市民の皆様と意見交換を行いました。

続いて、11月25日（土曜日）午後4時から、宇都宮二荒山神社下之宮、株式会社バルコ宇都宮店隣接地を会場に、「知ってほしい・・・！性の誤解と氾濫！！」をテーマに赤枝先生のトークショーを開催し、その後会場を宇都宮屋台横丁に移し、赤枝先生の街角相談、性感染症検査を行いました。



最後になりますが、この活動の必要性・有益性に鑑み、私達宇都宮西ロータリークラブは、来年以降も同様の活動を継続していく所存です。

雷鳴抄

若者たちの多くが「へえー、そうなんだ」という顔を見せた。

先週土曜、宇都宮市

の中心街で開かれた「知ってほしい！性の誤解と氾濫」と題するトークショー（宇都宮西ロータリークラブ主催）。野天の肌寒さにもかかわらず大勢の若い男女が足を止め、性感染防止運動に取り組む赤枝六本木診療所の赤枝恒雄院長とAV男優加藤鷹さんの話に耳を傾けた▼赤枝院長が「性交渉を遊びと考えるな。中学生の妊娠などを美化してはいけない」と言えば、加藤さんも「十八歳未満はAVを見てはだめ。性交渉相手が多いほど感染症の危険が高まる」と訴えた。神妙に聞き入っていた若者たちだが、ショーが終了するや加藤さんに「一緒に写真、い

物故会員

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550



物故会員

謹んで哀悼の意を表し
ご冥福をお祈り申し上げます

おお た ま さ お
太田正夫 (94才)
(佐野R.C.)

物故 平成19年1月10日

1986年～1987年 社会奉仕活動委員
1987年～1988年 地区財団情報及び増進委員
1980年～1981年 会員選考委員長
1982年～1983年 会員増強委員長
1983年～1984年 副会長
1984～1985年度 第26代会長
マルチプルポールハリスフェロー 3回目
ベネファクター
米山功労者 第3回

第2550地区 新入会員

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550



こ ば や し た け と
小林武人
(西那須野R.C.)

株川合ネームプレート製作所
代表取締役



あまり出入りする所ではないのですが、
戻ってきました。宜しくお願いします。



ひ ぐ ち あ き ら
樋口 晃
(宇都宮西R.C.)

株ロイアル
代表取締役



若輩ですが、ご指導よろしくお願
いします。



おお ぜ き ま こ と
大関 真
(宇都宮西R.C.)

(有)大関仏具店
専務



た な か や す あ き
田中康明
(宇都宮陽北R.C.)

アルファクラブ(株)
営業部課長 (宇都宮営業所所長)



ゆ あ さ さ だ む
湯浅 定
(宇都宮陽北R.C.)

(有)ユアサ宇都宮支店
専務



さ と う た か の り
佐藤隆憲
(宇都宮陽北R.C.)

住友生命保険(相)
栃木支社長



お ぐ ら た け し
小倉 武
(壬生R.C.)

共栄商事(株)
代表取締役社長



おお さ わ こ う す け
大沢康祐
(佐野R.C.)

群馬銀行佐野支店
支店長

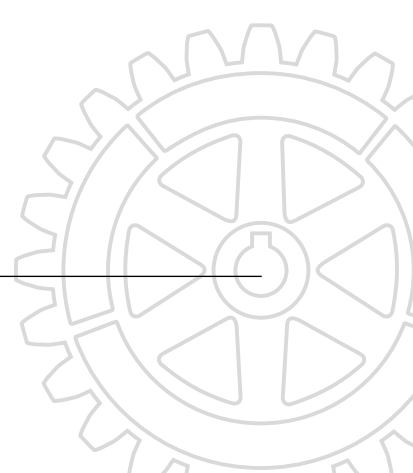


は ら あ き の り
原 昭史
(佐野R.C.)

東邦建(株)
代表取締役社長



佐野での勤務は初めてです。社業・地域
の発展に貢献したいと思っています。



2006～2007年度 地区主要行事予定

2007年

 地区外行事

月	日	曜日	行 事	場 所	
3	4日	日	第5回 諮問委員会(帰朝報告会)	宇都宮	宇都宮東武ホテルグランデ
	11日	日	2007-2008年度 地区チーム研修セミナー	宇都宮	作新学院大学
	25日	日	2007-2008年度 会長エレクト研修セミナー	宇都宮	作新学院大学
	24-25日	土-日	高校生ライラセミナー	鹿 沼	ウェルサンピア栃木
4	22日	日	第9グループIM	佐 野	大津栄
	22-27日	日-金	規定審議会	米 国	シカゴ マリオットホテル
	27日	金	地区大会記念ゴルフ大会	栃 木	都賀カンツリー倶楽部
	30日	月(祝)	2007-2008年度 地区協議会	宇都宮	作新学院大学
5	12日	土	RI会長代理歓迎晩餐会	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	13日	日	地区大会	栃 木	栃木市文化会館
6	17-20日	日-水	国際大会	米 国	ソルトレークシティ


文庫通信(233号)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「記念講演から」

- ◎「心豊かに太陽はのぼる ああ・・・生きていて良かった」
大野 百樹 2006 5p (D.2570 地区大会)

- ◎「伝統文化を学ぶ」
茂山 正邦 2006 4p (「D.2650 R Y L A 報告書」)

- ◎「人生の金メダリストになるために」
岡本真理子 2006 16p (「D.2650 R Y L A 報告書」)

- ◎「癌で死なないために」
武藤徹一郎 2006 4p (D.2580 IM)

- ◎「我々が今なすべきこと」
甲斐中辰夫 2005 9p (D.2610 地区大会)

- ◎「私の清水みなとストーリー」
村松 友視 2006 10p (D.2620 地区大会)

- ◎「なぜ今野生イネの自生地保全なのか」
佐藤洋一郎 2006 6p (D.2620 地区大会)

- ◎「新世代に望む」
今井 鎮雄 2005 12p (「新世代サミット報告書」)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]


ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー第2550地区1月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	出席率			会 員 数							
		例会数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第一グループ	大田原	3	89.10	90.88	47	49	0	0	4	2	2	1
	黒磯	4	99.00	98.57	44	45	0	0	3	2	1	2
	西那須野	4	98.90	96.98	49	52	1	0	3	0	3	0
	黒羽	4	95.24	94.57	22	21	0	0	0	1	-1	0
	那須	3	87.18	85.40	24	24	0	2	3	3	0	2
	塩原	4	81.80	77.84	13	11	0	1	0	2	-2	0
	大田原中央	4	80.90	78.50	21	21	0	0	0	0	0	0
第二グループ	烏山	4	88.23	92.43	17	17	0	0	0	0	0	1
	氏家	3	87.78	84.04	36	34	0	2	0	2	-2	0
	矢板	4	82.23	86.97	38	36	0	2	0	2	-2	6
	馬頭小川	4	96.70	92.36	23	23	0	0	0	0	0	0
	高根沢	4	82.35	84.16	17	17	0	0	0	0	0	1
第三グループA	宇都宮	4	74.10	73.59	101	101	0	1	8	8	0	0
	宇都宮西	3	92.31	92.43	60	64	2	0	6	2	4	0
	宇都宮北	4	76.18	77.49	57	57	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	3	89.10	89.06	44	43	0	2	2	3	-1	5
	宇都宮陽北	4	82.00	80.28	35	37	3	1	3	1	2	6
第三グループB	宇都宮東	4	90.25	92.39	104	103	0	1	2	3	-1	0
	宇都宮南	5	77.21	79.53	49	50	0	0	2	1	1	0
	宇都宮陽東	4	82.32	84.91	41	44	1	0	3	0	3	1
	宇都宮陽南	3	91.20	89.79	19	19	0	0	0	0	0	4
第四グループ	真岡	4	84.21	83.18	40	41	0	0	5	4	1	0
	益子	4	91.80	90.67	44	41	0	3	0	3	-3	0
	真岡西	4	93.75	92.67	45	45	0	0	1	1	0	8
	しもつけ	4	85.00	86.99	29	30	0	0	1	0	1	8
第五グループ	小山	3	88.00	89.39	47	50	0	0	3	0	3	0
	小山南	4	95.24	95.26	20	21	0	1	2	1	1	1
	小山東	3	87.11	90.96	42	42	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	77.41	81.09	29	32	0	0	3	0	3	0
	小山中央	4	72.00	74.43	27	27	0	0	0	0	0	1
第六グループ	栃木	4	80.90	76.44	55	55	0	0	1	1	0	0
	栃木西	4	86.70	85.44	43	44	0	0	1	0	1	2
	壬生	4	92.00	92.57	19	20	0	0	1	0	1	2
	栃木南	3	94.50	87.07	36	35	0	0	0	1	-1	4
第七グループ	日光	3	71.43	77.23	31	30	0	1	0	1	-1	3
	鹿沼	4	90.06	90.18	70	74	0	0	4	0	4	1
	今市	4	90.76	90.80	46	45	0	1	0	1	-1	0
	鹿沼東	4	92.50	92.24	47	47	0	1	1	1	0	2
	粟野西方	3	100.00	97.12	17	15	0	0	0	2	-2	1
	鹿沼中央	4	84.86	87.90	31	31	0	0	0	0	0	1
	今市きぬ	4	91.67	92.62	30	30	0	0	0	0	0	1
第八グループ	足利	3	86.94	83.30	49	47	0	1	2	4	-2	0
	足利東	4	73.36	77.34	61	62	0	0	1	0	1	6
	足利西	3	77.77	77.63	15	15	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	3	93.80	93.71	26	28	0	0	2	0	2	0
第九グループ	佐野	3	89.13	88.58	59	60	0	1	3	2	1	0
	葛生	4	90.20	89.50	36	36	0	1	1	1	0	0
	田沼	3	95.18	93.99	40	41	0	0	2	1	1	0
	佐野東	4	87.50	83.61	23	24	1	1	2	1	1	0
	岩舟	4	93.70	80.98	30	28	0	2	0	2	-2	1
50RC			87.23	86.90	1948	1964	8	25	75	59	16	71